株式会社UACJの事業適応計画のポイント

当社は2021年5月に「UACJ VISION 2030」を公表し、その中で「2030年度におけるサプライチェーン全体での CO_2 排出量を2019年度比22%削減(BAU比 %1)」することをKPIとして設定しています。

今回の計画では、製造所のアルミニウム用溶解炉に係る設備をエネルギー効率の優れた設備に更新することで、製品の製造時に排出されるCOっを削減し、炭素生産性の向上を図ります。

※1 BAU(Business as usual): 何も対策を講じずに現状(生産量、品質構成)を維持した状態

<事業適応計画の概要>

1. 事業適応計画の実施期間

2022年3月~2024年3月

2. 生産性向上目標

当社全体の炭素生産性を23.1%向上することを目標とします。

3. 前向きな取組の内容

福井製造所のアルミニウム用溶解炉のバーナーをリジェネバーナーに更新するとともに、アルミニウム用溶解炉の使用燃料をLNG燃料に転換する設備を導入します。その他、製造所内の天井照明のLED化、省エネ性能に優れた空調設備の導入により、稼働当たりのCO2排出量を低減し、炭素生産性の向上を図ります。

4. 支援措置

税制措置(カーボンニュートラルに向けた投資促進税制)

<福井製造所の外観>

